

【にっぽん丸】乗船記

モニター：村上様ご夫妻

乗船コース：飛んでクルーズ北海道 小樽港発着Eコース
(2025年9月9日～9月12日)

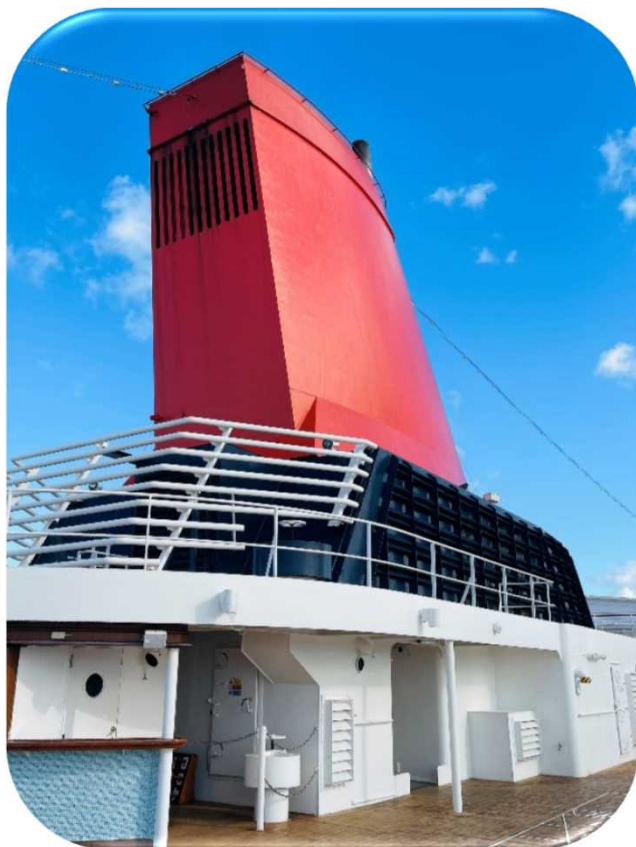
憧れの「にっぽん丸」に乗船！
実際に見るとにっぽん丸の大きさに圧倒されました！



出港時、小樽潮太鼓に盛大に見送られました！



スーペリアツイン（客室）



船内でのひととき

にっぽん丸では、乗船中、様々なイベントが企画・実施されていきました。デッキスペースでの「おはよう体操」から始まり、「デッキゴルフ」等、船上ならではの海風を感じながらのアクティビティを楽しむことができました。また、船内スペースでは、シアターでの映画鑑賞等、乗船客を片時も飽きさせない工夫と細やかな気配りが満載でした。

その中でも特に嬉しかったのが、プールサイドでいただく生ビールとにっぽん丸特製のハンバーガー、ホットドッグでした。



船内の生ビール

寄港地の観光(利尻)

最初の寄港地である利尻島（沓形港）では、島民の皆さんが岸壁でお出迎えをしてくださり、大変感動しました。

利尻島へ上陸し、日本一北にある「ビブグルマン」掲載店で食事をしたりと、利尻島を存分に堪能することができました。また、滅多にないことなのですが、滞在期間中はずっと、**利尻島のランドマークである利尻富士がその雄大な姿を惜しみなく見せてくれました。**



沓形港から見た利尻富士

寄港地の観光(羅臼)

羅臼では、にっぽん丸のその大きさゆえ、羅臼港へは接岸することができず、沖合に係留して通船で上陸するという貴重な体験をすることができました。羅臼では、道の駅へ出向き、現地の特産物や羅臼産昆布など、お土産をたくさん買うことができました。



羅臼港から見た
にっぽん丸と国後島

初めてクルーズ船に乗船して

フェリーでの旅は何度か経験がありましたが、やはり客船でのクルーズは全く「別物」なのだという事に改めて感動しました。それはなんと言っても、船の出港時や入港時、寄港地で全く見ず知らずの人々が繰り広げる歓送迎セレモニーです。これは本当に感涙ものでした。また、船内でのクルーたちのホスピタリティや、美食の朝食、ランチ、ディナー、夜食に軽食と、「これでもか」というほどのサービスのオンパレードで、まさに非日常な至福のひとつときでした。

フォトギャラリー



乗船しての全体的な感想

来年には引退が決まっている日本を代表する客船「にっぽん丸」に乗船する機会に恵まれ、本当に幸運でした。

客船クルーズには元々興味はありましたが、その「ドレスコード」が故に乗船を躊躇していました。今回はショートクルーズなのでドレスコードも「カジュアル」とのことでハードルも下がり、乗船することができました。

にっぽん丸はさすが「日本籍」の船と言うべきで、その船内のシックで落ち着いた雰囲気の豪華さは言うまでもなく、特記すべきは日本船ならではの細部までこだわった清掃です。本来は塩水で汚れているはずのデッキの手摺まで、綺麗に拭きあげられていました。

憧れの「にっぽん丸」に乗船し、束の間の非日常な船旅を終えて思うのは、「にっぽん丸」に乗船している特別なゲストたちを、とても多くの人たちがその行程を支えてくれているということでした。

にっぽん丸のクルーズは、食事、船室、各種イベント等々、まさにその噂にたがわぬもので、船内を流れる時間はまさに至福そのものでした。

寄港先での地元の方々の趣向を凝らしたお出迎えやお見送りのおもてなし、現地での「にっぽん丸専用巡回バス」や港に特設されたカフェ等々、客船クルーズならではの経験ができました。

